

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成 ・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成 ・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>進路支援（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>8：学校は、進路に関する連絡や情報提供を児童生徒や保護者に向けて適切に行なっている。</p> <p>21：学校は、地域を題材として学習活動を実践したり、卒業後の就労に向けて地域とのつながりを深めたりして、教育活動を積極的に推進している。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じた進路学習を行う必要がある。 ・ニーズに合わせて進路情報の提供を行うことが必要である。 ・各関係機関と連携して、組織的に進路支援を行うことが必要である。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障がい理解し、進路学習計画を立て進路支援に努める。 ・進路情報を収集し、ニーズに合わせて情報を提供する。 ・進路相談や進路支援会議を適宜行う。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が共通理解のもと進路学習を進める。 ・進路支援部が中心となって情報を収集し、情報の提供に努める。 ・ニーズに応じた進路相談や進路支援会議を行う。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や進路学習計画の作成し、全職員共通理解のもと進路学習を進める。 ・児童生徒・保護者の希望のもとに、適性を見極めて進路支援を進め、個々の進路実現を目指す。 ・卒業後に支援が必要な生徒については、関係機関と連携して計画的に進路支援会議を行う。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習計画の内容が年間指導計画に反映されているか。 ・組織的に個々の生徒の進路実現を目指すことができたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに進路学習計画を提示し、教育活動全体を通して進路学習や各種研修を実施した。 ・現場実習・進路先については、生徒・保護者に希望をもとに検討会を行い、個々の実態に応じた進路支援を行った。 ・進路だよりを活用し、学校生活における進路学習の様子や必要な情報を周知した。また、「岐阜本巣版 福祉サービス事業所一覧」を今年度も作成した。 ・関係機関と連携し、主に高等部の生徒を対象に進路支援会議を実施した。
評価の視点	評価
① 児童生徒が学習計画に基づき、進路学習を進める支援ができたか。	A ② C D
② ニーズに合わせた進路情報を行うことができたか。	A ② C D
③ 組織的に進路支援を行うことができたか。	A ② C D
成果・課題	総合評価
○児童生徒の発達段階に合わせた進路学習を学校全体として進めることができた。 ○関係機関と連携して、組織的・計画的に支援を進めることができた。	A ② C D

▲全保護者が学ぶことができる研修等の機会を一層充実していきたい。	
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容をより一層精査し、効率よく、臨機応変に対応して仕事を行う。 ・進路に関わる情報提供をより一層充実させていく。 ・必要に応じて他の分掌と連携しながら計画、実施していく。

学校関係者評価 （令和6年2月27日実施）

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員などの関係機関との連携が十分になされている。相談支援専門員が設定した、現場実習に学校側も参加できるよう対応するなどして、卒業後の活動の場の確保に向けて、関係機関と協働して取組み、臨機応変に対応できている。
